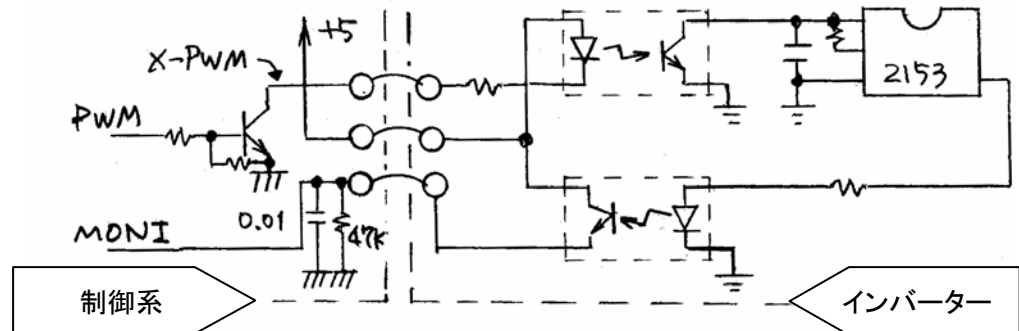


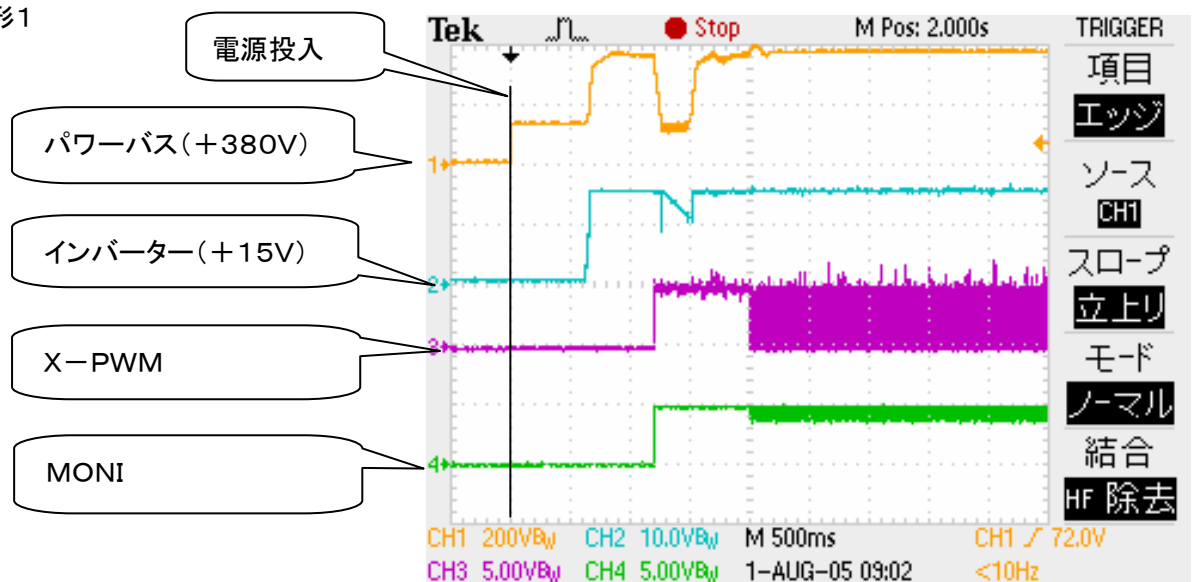
AQ-PW系 双方向調光制御仕様

2005・8・1 ボズシ工房

ブロック図1



波形1



力率改善回路を搭載したAQ-PW系のインバーターでは、コンデンサー・インプット方式のインバーター、AQ-F系やAQ-GN系と異なり、パワー・バスが立ち上がる迄に1sec~2secの時間を要します。従って、その調光制御は電源の始動と同時に1sec程度の100%キックを与えるだけでなく、インバーターのパワー・バスが立ち上がった事を制御系が認識し、制御する必要があります。

AQ-PW系ではパワー・バスが立ち上がった事をモニターできる様に絶縁型の帰還ポートを増設しました。波形1がシステム始動時のタイム・チャーター(例)になります。

1. 制御系に電源が投入されてから約1secはPWMポートに0%(消灯)を出力します。
2. 次にPWMポートに100%750msec(キック)を出力した後、MONIが1V以上であることを確認します。
3. MONIが1V以上の場合には任意のPWMデューティーを出力します。またPWM・1サイクルないし数サイクル毎にMONIを監視します。
4. MONIが1V以下の場合、あるいは1V以下になったらキック・アルゴリズムへ戻します。